



オリーブニュース

北海道特別教区女性の会（オリーブの会）第13期 第1号

会長 近藤雅子 2015年1月23日発行

昨年より11月開催となりました総会において新役員が選出されました。
まずは役員および担当委員より今後の抱負などです。



～坂本牧師より～

「見よ、闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で
主の栄光があなたの上に現れる。」 イザヤ書 60:2

11月には教区女性の会の総会、12月にはクリスマス、そして慌ただしく新年を迎え、各教会の総会を目前に控えている今日この頃。日々、やるべきことに追われつつ、その中にも神様の恵みを発見して数え上げることの楽しみがあります。後ろ向き・悲観的に傾きがちな心をしっかり支え、行く先を照らしてくれるみことばに励まされて、今年も歩んでいきたいと思えます。

これからの歩み

会長 近藤雅子(札幌)

今回また再任をされた次第ですが、これまでの2年間は有効な試運転をさせていただいたように思います。私にとりましても教区や連盟との関わり等についてきちんと理解をしていない部分が多くあ

りましたが、連盟役員の方々との交流や教区常議員会に陪席させていただいたことにより、連盟や教区が抱える様々な問題を把握することができました。また、被災地やサバ、昨年は厚岸の林さんをお訪ねしたりと直接的に見聞きする機会もあり、より自分たちの働きが大きな広がりを持っていることを感じました。

このようにきちんとした知識や力量もない私ですが、皆様の温かいお支えのもと、充実した試運転期間を得まして今後の3年間で少しでもお役に立てたらと切に願います。

どうぞ心を合わせ歩みを進めてゆきましょう。

再び書記のお役を担って

書記 大賀美紀子(札幌)

3年に1度の教区女性の会の総会、いつも吹雪や豪雪が気がかりでした。それが、一大決心で11月開催に組み替えて昨秋実行。役員任期は総会年明けて1月1日から3年後の12月31日までとなり、今、13期がスタートしました。このようにこれまでの沢山の課題を皆様と共に紐解いて、協力し合って教区のつながりを生かしていく働きに参画出来るのは嬉しいことです。思いがけず長く教区女性の会の活動

に関わってしまいました。これが最後のご奉仕の機会と主を仰ぎ見つつ、身を引き締めて参ります
右も左もわからぬ者ですが…。 会計 野口英子(札幌)

このたび会計の任を仰せつかりました野口英子です。2年前のクリスマスに津田沼教会より札幌教会に転籍し、教区のこと女性会のことほとんどわかっていない新参者が役員という責務を担うことに大きな恐れを抱いています。「こんな私で良いのでしょうか？」と何度も問いかけるなかで、ただ神様に頼み皆様に教えていただきながら神様のご用のために働かせていただくと思いました。教区の働きを通して学ばせていただきたいと願っています。皆様どうぞよろしくお願いたします。

昆布 昆布担当委員 梅原裕子(札幌)

2015年度も、引き続き昆布担当になりました。
微力ながら、お手伝いをさせていただきたいと思います。

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録され、以前にもまして昆布に多くの方が関心をもってきているのではないのでしょうか。関連施設の給食用に購入してくださっている教会もあります。

私が働いていた「めばえ幼稚園」でも子どもたちと楽しむ「料理づくり」には、昆布を使った「だし」をいれていました。幼い頃に、和食として昆布を使った「だし」や昆布料理を味わうことは大切なことですね。大人から子どもまで、昆布を使った料理を楽しんで食べていきましょう。今年度も「ルーテル昆布」が、全国のみなさまに喜ばれますように御協力よろしくお願いたします。

エライサちゃんとともに・・・ CFJ担当 松島直子(札幌)

子どもの成長を目の前にするということは、本当に感動的なものです。チャイルドも写真を見るたびに、背が大きくなり、字も上手になり、離れていてもその成長ぶりをうかがうことができ、毎回のお手紙に心が弾みます。その心の弾みを、再び皆さんと分かち合う任をいただきました。継続して支援に関わる意味を、かみしめています。1年のサイクルの中で、お手紙やカードのやりとりが主となりますが、年数を重ねるごとに思いをこめてチャイルドに届けたいと、気持ちをあらたにしています。今年度は函館教会を訪問いたしました。機会がありましたら道内各教会の方々と、これからも交流できたらと思います。また、何かアイデアがありましたら、お知らせください。メール、お手紙、お電話など通信手段を駆使して、連絡をとりながら情報収集にも努めたいと思っています。北海道に住まう私たちが主のもとでひとつとなって、ひとりのチャイルドを支え続けていきましょう。どうぞ、これからもよろしくお願致します。

[会計監査]

函館教会の大塚陽子です。

この度、会計監査役を賜りました。全くどこまで出来るか、分からない状況ですが、宜しくお願いたします。

帯広教会の岡田ひとみです。

帯広で信仰生活を守って長くなりました。なかなか教区女性の会の活動を覚える事が出来てません。この度会計監査の役を受け、3年の間お金の面から活動を見守りたいと思います



大賀、野口、近藤、梅原、松島



大塚、岡田、坂本先生

★函館の大塚さんより、キリスト教と関連がある施設として 函館の老人福祉施設についてご紹介をしていただきました。

総合施設【旭が岡の家】について

J R函館駅から13 km程離れた標高175 m、津軽海峡を見下ろすことのできる丘に、旭が岡の家は在ります。現在は、「旭が岡の家介護老人福祉施設（昭和52年に特別養護老人ホームとして開設）・旭が岡の家特定有料ホーム レジタント・旭が岡の家在宅ケアセンター、ベレル・旭が岡の家生活支援ハウスやすらぎの総合施設」となっています。

設立のきっかけは、当時市内に特別養護老人ホームは1か所しかなく、市役所の厚生部長からグロード神父に、「今後は、老人施設が必要だ」という一言があり、函館に赴任されてから児童施設や児童障がい児施設等の福祉施設設立・運営に携わっていた神父は、「その一言にすっかりはまってしまった。」とよく話していたそうです。介護老人福祉施設の3階には、聖堂が有り、日々の祭儀・特設のミサが行われます。主日の祭儀は、施設内にその様子が放送されます。

旭が岡の家で寝起きし、そこに住んだグロード神父は、2012年12月に召天されました。現在は、新施設長の下、新たな課題に取り組んでいます。

紙面の関係上、多くをご紹介できませんが、是非足を運んで見学されたり、『福祉に生きる59』～

グロード神父（大空社）をお読みいただけたらと思います。



昆布2014年度最終報告

全国の方々からのご協力も得まして昨年度の昆布も完売となりました。

★販売数・・・2,343パック ★純益・・・¥49,2414

お手伝いをいただきました方々はじめ、この資金により女性の会の活動はもとより関係団体への献金や教区の働きへの還元ができますことに感謝ですね。

<これからの予定>

●2/13(金) 教区役員会

提案事項がありましたら1月末までに近藤までお知らせください。

9:30~11:30 札幌礼拝堂スオミホール



●6月2(火)、3(水)、4(木)で女性会連盟総大会が行われます。

<予定スケジュール>

第1日目 大会及び愛餐会

12時半より受付

1時半~2時半 開会礼拝および召天者を覚える礼拝

2時半~3時 オリエンテーション・休憩

3時~4時半 基調講演 大塚野百合姉(讃美歌に関する著書多数)

4時半~6時 チェックインと自由時間

6時~8時 愛餐会(費用は3000円見当を希望。1月現地と相談)

第2日目 総会

8時半 受付

9時~17時 総会

第3日目

8時半~9時半 「宗教改革500年」について ルター研究所長 鈴木浩先生

9時半~10時 総会決議事項の確認 新役員紹介 前役員退任の挨拶

10時~11時半 派遣聖餐礼拝 役員就任式

3月初旬に申し込みが開始され、4/6までに教区で参加者をとりまとめ申し込みます

連盟が抱えてきました様々な懸案事項について、これまで1年間、各教区でも小委員会として協議を重ねてきました。その最終的な協議と決議をする総会です。

多くの方が参加し、全国の会員の方々との交流を深めましょう。

編集後記:.....:

いよいよ6月には連盟の総大会があります。これからの3年間を見据えた大切な総大会となるでしょう。また、北海道も活性化するにはどうしたらよいか最も重要な課題です。厳冬期の今はなかなか行動も鈍くなってしまいましたが暖かくなったら何をしようかと期待をもってアイデアをめぐらしていきたいですね！

(K.M)

